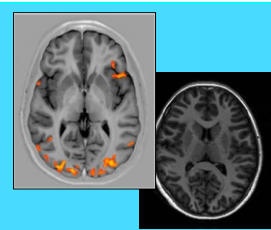




研究にご協力いただける方を募集しています



本研究では、自閉症スペクトラム症(以下ASD)の脳の形や機能、認知機能の発達と、それに影響を与える生活習慣や遺伝子について調べることを目的としています。この研究の成果は、ASD児・者に対する効果的な支援方略を考えることや、脳や遺伝子によるASDの客観的な評価指標を得ることに繋がると考えています。

- 【募集期間】** 随時（下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いします。）
- 【対象】** 小学生から高校生(6～18歳)までの自閉症スペクトラム症の診断のある方(男女不問)
条件: てんかん、脳神経疾患などの診断を受けていない方
MRI調査を行うため、重度知的障害のある方、歯列矯正など体内に金属を有する方、閉所恐怖症の方は、ご協力いただけません
- 【場所】** 東北大学 加齢医学研究所（仙台市青葉区星陵町4-1）
- 【日時】** 調査日程: ご協力頂く方のご都合に合わせます（主に土日の午前または午後）
所要時間: 3時間程度
- 【内容】**
 - ①MRI調査: 脳の形態や脳血流の量、安静時の脳活動などを測定します（1時間程度）
 - ②認知機能調査: WISC-IVまたはWAIS-IIIにより認知能力を測定します（1時間半程度）
 - ③アンケート調査: 事前にご記入いただくものとは別に、当日にも実施します(20分程度)
 - ④インタビュー: お子様の生育歴について保護者1名へインタビューします（3時間程度）
 - ⑤遺伝子調査(事前): お子さまとご両親の遺伝子データを唾液から収集します。
事前に唾液収集キットと説明書を郵送にて送付致します。※採血などの調査はありません
 - ⑥資料送付による調査(事前): 生活習慣や性格傾向などを伺うアンケート票などを事前
に送付致します。ご記入の上、唾液収集キットと共に、調査当日にご持参ください。
- 【その他】** 謝礼として5000円分の図書カードを進呈します。調査会場までの交通費はご負担願います。
お車でのご来場も可能です。
保護者様へインタビューさせていただくため、お子様と同伴にて調査会場へお越し下さい。
ご希望される方には②、④について詳細な結果をご報告致します。
ご都合がよろしければ、後日、追加の研究へのご参加をお願いすることがあります。

ご興味のある方には詳しい資料をお送り致しますので、下記までお問い合わせください

【研究代表者】 東北大学加齢医学研究所 教授 川島隆太
【お問い合わせ先】 東北大学加齢医学研究所 認知機能発達寄附研究部門

E-mail: dcn.apply@grp.tohoku.ac.jp

または 022-717-8457（お電話の場合は平日の10:00-17:00）担当: 沖本・橋本